

小松節子の ハートフル メッセージ



子どもたちにもものづくりを伝える思い

弊社では、子どもたちの成長のきっかけになれば、とコロナ禍前から地域の小学生たちを受け入れ、工場見学やものづくり体験をしてもらっています。

5月中旬には、「川上なんでも塾（村上昭登塾長）」に所属する子どもたち27人が訪ねてくれました。保護者、スタッフの方を含めると約50人となり、2班に分けて対応しました。

弊社の事業内容が分かるロボットセンターでは、ドライアイスペレットを使った洗浄や、自立走行型搬送ロボットが、製品を搭載したパレットを運ぶ作業などを見学。子どもたちは、興味津々の様子で見入っています。

た。

ものづくりでは、空調の用途などで使われるダクトを製造する際の材料となる鋼板で、小物入れを作ってもらいました。社員から金づちを使って

鋼板をたたきコツの手ほどきを受けながら、楽しそうに作る子どもたちの姿が印象的でした。

戦後、日本

の成長を支えてきたのは製造業です。だからというのではありませんが、次世代を担う小学生には、ものづくりに興味を



メンテックワールドの社員のアドバイスを受けながら鋼板を使って小物入れを作る川上なんでも塾の子どもたち

持ってほしいと思っています。弊社では県主催のものづくりフェアにも参加し、ものづくりの楽しさを子どもたちに伝えていきます。

これからの企業は、収益を求めるだけではなく、社会（地域）貢献活動も求められています。子どもたちの教育もその一環。2019年に遊びながら4カ国語が学べる企業主導型の保育園を開園したのも、その思いからです。